

2-1 森林マネジメント認証普及促進事業

事業目的

環境に配慮した森林整備を行うことにより、森林の健全化を確保し、森林による二酸化炭素吸収機能の強化推進を図る。また、森林認証取得等への取組支援や森林吸収オフセットクレジット制度の普及啓発を推進し、社会全体で森林整備を支える体制づくりを構築する。

事業内容

1 森林認証取得等支援

(1) 森林認証普及活動

【概要】

森林認証制度の普及や県内における取組事例などを広く普及するため、県民等を対象としたセミナーを開催

【実施主体】 県 【事業費(H29)】 160千円

(2) 森林認証取得等支援

【概要】

森林経営の持続性や環境保全への配慮等による森林管理を推進するため、森林認証（森林管理）の取得等へ助成

【実施主体】 森林を管理する団体等

【事業費(H29)】 1,125千円

【事業量(H29)】 2団体

【補助率】 1/2以内等（上限：1,000千円以内）

(3) 認証材普及商品開発活動支援

【概要】

森林認証材商品の開発による認証製品の普及を図るため、試作品製造等へ助成

【実施主体】 団体等

【事業費(H29)】 250千円

【事業量(H29)】 1団体

【補助率】 1/2以内（上限額 250千円）

3 森林吸収オフセット・クレジット制度PR活動

【概要】

森林による二酸化炭素吸収量をクレジット化する森林吸収オフセット・クレジット制度の普及啓発活動を実施

【実施主体】 県 【事業費(H29)】 600千円

【事業内容】

- ① 環境関連イベントへの共同出展による普及PR
- ② 宮城県森林吸収オフセット・クレジット普及広報連絡会議等の開催や経産省等が主催する協議会への参加による情報交換
- ③ 普及PR用のパネル、チラシ等の作成

(事業費合計 2,135千円)

事業効果

CO₂年削減効果

- t-

税導入後のイメージ



社会全体で森林整備と二酸化炭素排出削減を支える仕組みづくり